

令和4年

消防概況

土岐市消防本部

火災概況

前年と比較すると、建物火災の件数が減少しました。

○ 火災件数

令和4年中における市内での火災件数は16件で、令和3年と比べると3件減少となりました。

○ 死傷者

死傷者数は5名で、内訳は、死者3名、負傷者2名でした。

○ 消防団の出動

16件発生した火災のうち、消防団が出動した件数は3件でした。

○ 原因別

原因別では、火入れ4件、放火・放火の疑い2件、こんろ1件、その他5件、不明・調査中4件でした。

○ 火災種別

火災種別ごとに見ると、**建物火災が7件**で、車両火災4件、その他の火災が5件発生しました。

○ 土岐消防の対策

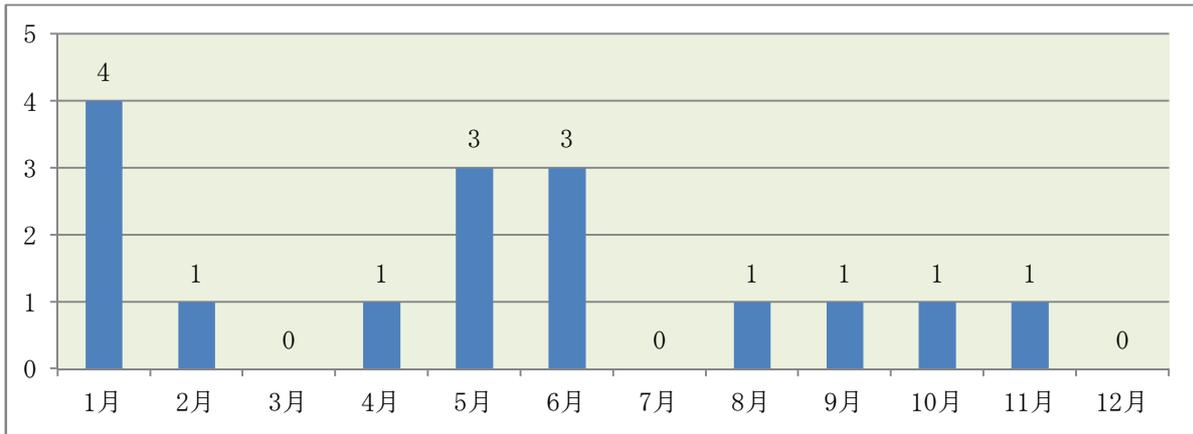
毎年火災により尊い命や財産が失われ、死傷者の多くは住宅火災で発生し、その多くは高齢者となっています。

消防本部では、火災による死傷者を低減するため、住宅用火災警報器設置の呼びかけなどの「住宅防火対策」、警戒巡視などによる「放火火災防止対策」、各施設への立入検査および消防訓練の立会いなどによる「不特定多数の方が利用される施設や、福祉施設などの防火安全対策」を重点推進項目として火災のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。

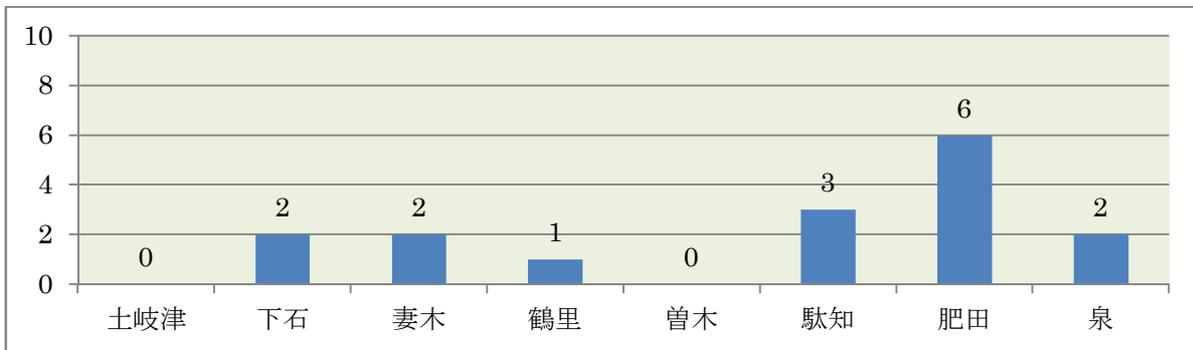
直近の火災状況および前年との比較

		令和2年	令和3年	令和4年	前年比	
火災件数	合計	19	19	16	-3	
	建物火災	7	13	7	-6	
	林野火災	1	0	0	0	
	車両火災	3	2	4	2	
	その他の火災	8	4	5	1	
者数	死傷	死者	1	2	3	1
	負傷者	2	1	2	1	
損害額（千円）		15,027	29,293	11,710	-17,583	

月別火災件数



地区別火災件数



住宅用火災警報器 取り付けていますか？

- 設置した場合**死者数が半減**
※住宅火災 100 件あたり（総務省消防庁）
- 設置したら**定期的に作動の確認**を
- 設置後 **10 年を目安に交換**しましょう

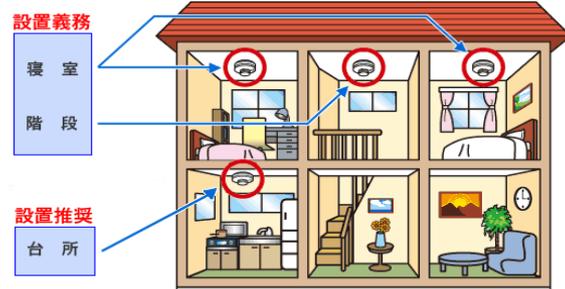


令和 4 年度住宅用火災警報器設置状況について

【調査結果】

土岐市	岐阜県	全国
81.0%	80.4%	84.0%

【住宅用火災警報器設置箇所】



救急概況

65歳以上の救急事案が全体の約71%を占めています。

○ 救急件数

令和4年中における救急件数は3,038件で、令和3年中の2,658件と比較して380件の増加となりました。これは、1日平均約8.3件出動したことになります。

搬送人員は2,799人で市民約20人に1人の割合で救急搬送されていることになります。

全国的な高齢化の進行により、本市においても全搬送人員の約71%を65歳以上の高齢者が占めています。

(令和4年11月末日の人口55,935人 土岐市ホームページより)

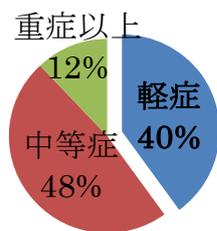
○ 最も多く発生した事故種別は急病

救急事故種別では、急病1,933件で令和3年と比較して259件の増加、一般負傷512件で111件の増加、交通事故141件で5件の減少、その他452件で15件の増加となりました。

○ 約40%は軽症程度

救急搬送した2,799人のうち約40%にあたる1,130の方が、医師により入院の必要がないと診断された「軽症」の方でした。本当に救急車が必要な人のもとへ1秒でも早く救急車を到着させ、大切な命を救うために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

傷病程度割合

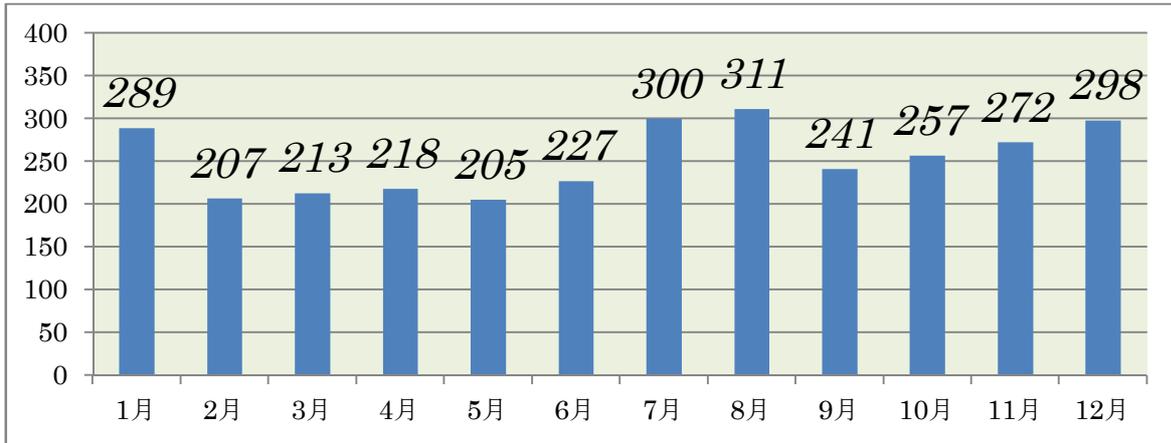


軽 症…入院を必要としないもの
 中等症…傷病の程度が重症または軽症以外のもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの

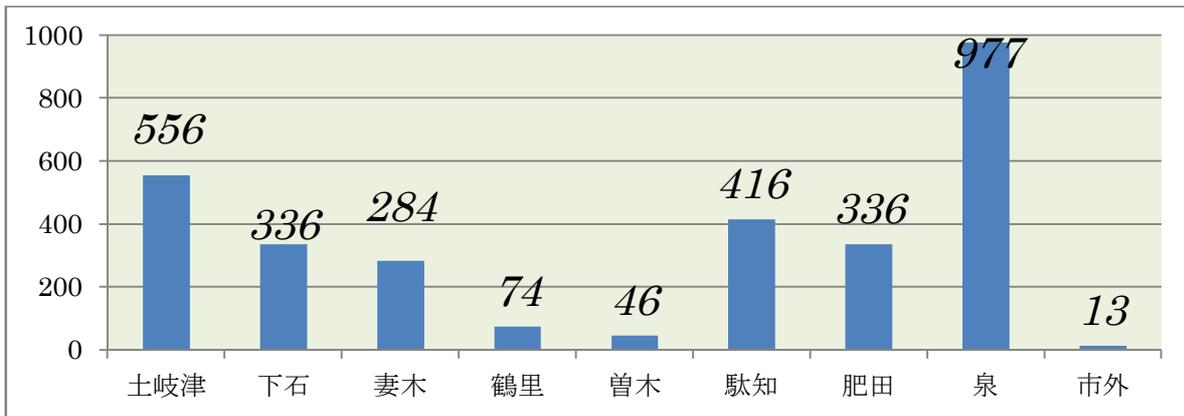
直近の救急状況および前年との比較

		令和2年	令和3年	令和4年	前年比
救急件数	合 計	2,530	2,658	3,038	380
	急 病	1,602	1,674	1,933	259
	一般負傷	398	401	512	111
	交通事故	141	146	141	-5
	その他(上記以外)	389	437	452	15
搬送人員		2,370	2,505	2,799	294
1日平均件数		6.91	7.28	8.32	1.04

月別救急件数



地区別救急件数



救 助 概 況

交通事故による救助事案が全体の約63%を占めています。

○ **救助件数**

令和4年中における救助件数は33件で、令和3年と比較して14件の増加となりました。

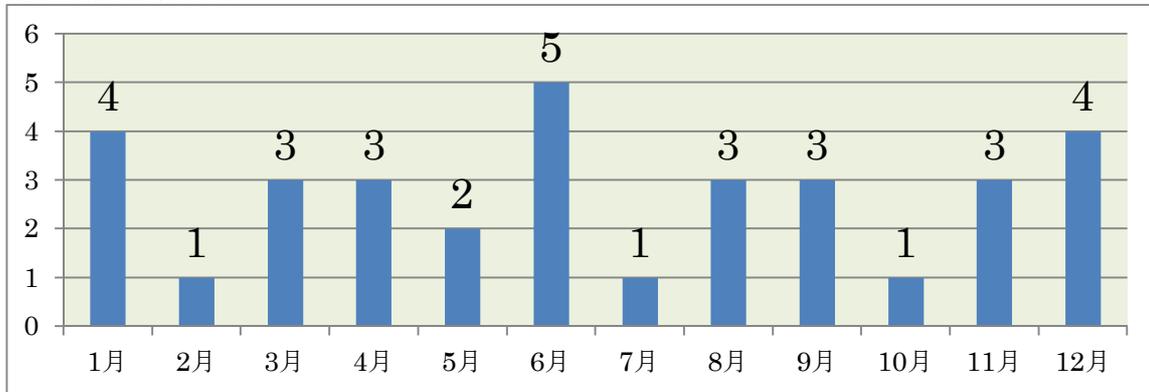
○ **最も発生した事故種別は交通事故**

土岐市では救助件数のうち交通事故が約63%を占めています。土岐市には中央自動車道、東海環状自動車道及び、ジャンクション等多数の幹線道路が整備されており、それらの沿線には大型商業施設もあります。多くの車両が往来することから交通事故が発生しやすい地域と言えます。

直近の救助状況および前年との比較

		令和2年	令和3年	令和4年	前年比
救助件数	合計	24	19	33	14
	交通事故	9	11	21	10
	その他	15	8	12	4
活動件数		18	13	25	12
救助人員		20	16	27	11

月別救助件数



地区別救助件数

